

Sinfonia

シンフォニア

Tomoharu Ushida

「ピアノ」牛田智大
ともはる

【指揮】アンナ・スウコフスカ・ミゴン

Anna Sułkowska-Migoń

ワルシャワ国立 フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

The Symphony Hall プラチナコンサート

世界の巨匠とともに2025



Close Up

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演
チョ・ソンジン インタビュー

ジャンアンドレア・ノセダ指揮
カーネギーホール ナショナル・ユースオーケストラUSA 大阪公演
レイ・チェン インタビュー

前橋汀子 ヴァイオリン・スペシャル・コンサート

ほか

Warsaw
Philharmonic Orchestra

The Symphony Hall プラチナコンサート 世界の巨匠とともに2025

Vol.1 ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2025. **8/30** (土) 2:00PM開演

〔指揮〕アンナ・スウコフスカ-ミゴン

〔ピアノ〕牛田智大

〔管弦楽〕ワルシャワ国立フィルハーモニー
管弦楽団

シヨパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

単券 発売中

S 16,500円 A 13,200円 B 11,000円 C 9,900円 (全席指定 税込)

Vol.2 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2025. **10/19** (日) 2:00PM開演

〔指揮〕セミヨン・ビシュコフ

〔ピアノ〕チョ・ソンジン

〔管弦楽〕チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

スメタナ：交響詩『わが祖国』より「モルダウ」

ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調

チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 op.64

単券 シンフォニア会員先行：5/22 (木)
一般発売：5/25 (日)

S 24,200円 A 19,800円 B 16,500円 C 15,400円 (全席指定 税込)

Vol.3 五嶋みどり with ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団 大阪公演

2026. **3/20** (金・祝) 2:00PM開演

〔ヴァイオリン〕五嶋みどり

〔リーダー〕ダニエル・ドッズ

〔管弦楽〕ルツェルン・フェスティバル
室内管弦楽団

モーツァルト：交響曲 第41番 ハ長調

K.551「ジュピター」

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

単券 シンフォニア会員先行：9/25 (木)
一般発売：9/28 (日)

S 23,100円 A 18,700円 B 16,500円 C 15,400円 (全席指定 税込)

プラチナセット券

毎年大好評! Vol.1、2、3 の3公演すべて同じお座席で
お楽しみいただけるプラチナセット券をご用意しました。

発売中 **63,800円** (税込/全3公演通し券)

※ザ・シンフォニーチケットセンターのみお取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。

残りわずか!



プラチナセット券に
ついてのご案内は
こちらから

ともはる
〔ピアノ〕牛田智大
Tomoharu Ushida
©Ariga Terasawa

〔指揮〕アンナ・スウコフスカ-ミゴン
Anna Sukowska-Migon
©Piotr Banasik

ワルシャワ国立 フィルハーモニー管弦楽団

大阪公演 Warsaw Philharmonic Orchestra



ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団はポーランドを代表するオーケストラ。1901年に創設され、第二次世界大戦後、ヴィトルド・ロヴィツキ、カジミエシュ・コルト、アントニ・ヴィットらの名指揮者によって、発展を遂げた。現在は、鬼オクシシュトフ・ウルバンスキが音楽監督を務めている。シヨパン国際ピアノ・コンクールの本選で演奏するオーケストラとして世界的に知られ、日本にもたびたび訪れている。

今年8月のワルシャワ国立フィルの日本公演で指揮を執るのは、世界が注目する若手指揮者の一人、アンナ・スウコフスカ・ミゴン。1995年生まれの彼女は、2022年、パリで開催された女性指揮者のコンクール「ラ・マエストラ」で第1位を獲得。これまでに、フィラデルフィア管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ドレスデン・フィル、ポーランド放送交響楽団、ワルシャワ国立フィルなど、世界トップクラスの名門オーケストラを指揮している。今回の大阪公演で、彼女はドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」を披露する。欧米が注目する気鋭の指揮者が名曲中の名曲をどう指揮するのか、注目である。

牛田智大が7年振りにワルシャワ国立フィルとシヨパンを演奏

コンサートの前半では、ワルシャワ国立フィルのまさに十八番のレパトリーであるシヨパンのピアノ協奏曲第1番が演奏される(おそらく彼らは世界で最もシヨパンのピアノ協奏曲第1番を演奏しているオーケストラだろう)。独奏を担うのは、新しい世代を代表する人気ピアニストの一人、牛田智大。早くから才能を示し、12歳でCDデビューし、

た彼は、これまでに、シュテファーン・ウラダー指揮ウィーン室内管弦楽団、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団、ヤツェク・カスプシク指揮ワルシャワ国立フィル、トマーシュ・ブラウネル指揮プラハ交響楽団、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィルなどと共演している。今回、7年振りの共演となるワルシャワ国立フィルとどんなシヨパンを聴かせてくれるのか非常に楽しみである。また、牛田が5歳ほどしか変わらないスウコフスカ・ミゴンと化学反応を起こし、どんな新鮮な演奏を繰り広げるのか興味津々である。

(文 山田治生)

〔指揮〕アンナ・スウコフスカ・ミゴン 〔ピアノ〕牛田智大
〔管弦楽〕ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

シヨパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11
ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

2025. **8/30** (土) 2:00PM

全席指定 S 16,500円 A 13,200円 B 11,000円 C 9,900円(税込)

※世界の巨匠とともに2025 全3公演
プラチナセット券63,800円(税込)あり
(ザ・シンフォニー チケットセンターのみで取り扱い)

〔お問い合わせ〕ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

〔主催〕ザ・シンフォニーホール

発売中



詳細はこちら

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

「ピアノ」
チヨ・ソンジン

Interview

ラヴェルの協奏曲の2楽章は、
あらゆる協奏曲の中で最も美しい

Seong-jin Cho

©Holger Hage

16歳の初共演で感じた
チェコ・フィルの特別な音

——チェコ・フィルハーモニー管
弦楽団とはこれまでも共演経験
があると思いますが、どんな印象
をお持ちですか？

チェコ・フィルは、僕のお気に入り
のオーケストラの一つです。お
そらくほとんどの方が覚えていな
いと思いますが、実はチェコ・フィ
ルとはずいぶん昔に日本ツアーを
しています。それは2011年の
3月のこと、指揮はチョン・ミョン
フンさんで、チャイコフスキーコン
クールを受ける前だったこともあり、
演目はチャイコフスキーのピア
ノ協奏曲第1番でした。

東京でクロースド・コンサート
をしたあと、3月10日にザ・シン
フォニーホールで大阪公演を行
い、翌日、福岡公演当日に東日本大
震災が起きたのです。

東北から遠かったので、福岡公
演、翌日の広島公演と、コンサート
は予定通り行われましたが、3月
13日の東京公演は、完売にもかかわ
らず60%ほどしか客席が埋まっ
ていませんでした。多くのお客様が
来られなかったのだそうです。日
本のみならずにとって、とても辛く
厳しい時期だったと思います。

その環境の中でも、チェコ・フィ
ルの特別な音色は僕の記憶の中に
強く刻まれました。当時まだ16歳
で、オーケストラとの共演経験は
あまり多くはありませんでした
が、それでも彼らの弦楽器の音に
何か特別なものを感じたのです。

その後、2年前には、セミヨン・
ビシュコフさんの指揮で、フラン
スの作曲家、ティエリー・エスケ
シュの新作を初演するという特別
な経験をともにしました。

今や私もオーケストラとの共演
経験が増えましたが、その中でも
チェコ・フィルは特にユニークで、

「指揮」セミヨン・ビシュコフ



©Marco Borggreve

豊かな伝統が受け継がれているこ
とを感じます。どこかのオーケス
トラと比較してこちらが優れてい
るということではなく、その特別な
キャラクターや音色が僕の好みに
合っているのだと思います。

優しく微笑んでいるけれど
瞳に涙を浮かべている

——今回はラヴェルのピアノ協奏
曲を演奏されます。最近ラヴェル
の全ピアノ作品の録音をリリース
されたところですが、その視点か
ら、こうしたラヴェル晩年の作品
にはどんな印象がありますか？

ラヴェルが人生の終盤に書いた音
楽からは、どこかリラックスした雰
囲気を感じます。特に2楽章は、す
べてのピアノ協奏曲の中で最も美し
い楽章の一つだと僕は思います。

ベートーヴェンやブラームスのよ
うな大作曲家の晩年の作品は、人々
を感心させようとするところがまっ
たくありません。全てを知る経験豊
かな老賢者が、ただ音楽が流れるま
まにしているのに、たくさんの意味
のある瞬間が生み出されるといっ
たところでしょうか。

ラヴェルのピアノ協奏曲の2楽章
も、まさにそんな音楽です。私はこ
の楽章を演奏するたびに、優しく微笑
んでいるけれど瞳に涙を浮かべてい
る人を想像します。その感情を表現
するのはとても難しいですが、何度も
演奏する中で、少しずつそれを表現す

る境地に近づいている気がします。

——その意味では、1楽章、3楽章
とのコントラストが大きいですね。
そうですね。でもリズムミカルな

1楽章にも、カデンツァの後にはピ
アノとオーケストラがユニゾンす
る感動的なパートがあります。終
楽章はジャズ調でユーモラス、まる
で花火のようで、短いけれど難しい
です。この協奏曲に加え、左手のた
めの協奏曲も晩年の作品ですが、こ
れらはピアノ・ソロの楽曲と比べ
るとよりジャズの要素が強いです。

——ジャズを感じる部分ほどのよう
にその感覚を掴んだのでしょうか？

いつもトロンボーンの表現を想像
していますね。演奏家によって違い
はありますが、トロンボーンはジャ
ズのような表現が得意なことが多い
と感じます。グリッサンドのような
表現が多いからかもしれません。そ
の音や感触を想像しながらピアノで
音を出すことはよくあります。

ただ、ラヴェルの作品は、もちろ
ん完全なジャズではありません。
穏やかなジャズといえは良いで
しょうか。彼の書いたリズムやア
クセントが、音楽を非常にジャ
ジーに感じさせるのだと思います。

——ラヴェルのピアノ作品には、
技術的にどんなものが求められま
すか？

とてもデリケートなものが求め
られますね。ブラームスやベー
トーヴェンで必要なテクニクと
はかなり違って、シャープで、かつ
オーケストラのようにカラフルな
音を鳴らさなければなりません。

実は最近、演奏する際、ピアノのベ
ンチの高さを作品によって変えるよ
うになりました。ラヴェル、それか
らシヨパンやドビュッシーのよう
なデリケートな作品では、ベンチを少
し低く調整します。一方で、チャイ
コフスキーやブラームスのピアノ協
奏曲のような、構造がよりしつかり
としていて、力強く、肉付きのよい感
じ、ズターキのような作品を演奏
するときは、ベンチを少し高めに調
整するのです。例えるなら、ステー
キ用の椅子は高く、さしみ用の椅子
は低く、という感じでしょうか笑。

この方法を取り入れるように
なったのは、去年のことです。

——今もなお理想の表現のために
いろいろ試しているのですね。そ
れでは最後に、ザ・シンフォニー
ホールの印象、大阪のお客さんへ
のメッセージをお願いします。

大阪はこれまで何度も訪れてい
る大好きな街です。ザ・シンフォ
ニーホールは世界屈指のすばらし
い音響で、そこでまた演奏できる
ことを心待ちにしています。ぜひ
みなさん会場へお越しください！

(取材・文 高坂はる香)



©Vaclav Jirasek

「管弦楽」チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

「指揮」セミヨン・ビシュコフ 「ピアノ」チヨ・ソンジン

「管弦楽」チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

スメタナ：交響詩「わが祖国」より「モルダウ」

ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調

チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 op.64

2025. 10/19 (日) 2:00PM

全席指定 S 24,200円 A 19,800円 B 16,500円 C 15,400円(税込)

※世界の巨匠とともに2025 全3公演 プラチナセット券63,800円(税込)あり

(ザ・シンフォニー チケットセンターのみで取り扱い)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/22(木) 一般発売：5/25(日) NEW

詳細はこちら





ザ・シンフォニーホール

韓国テグ・コンサートハウス



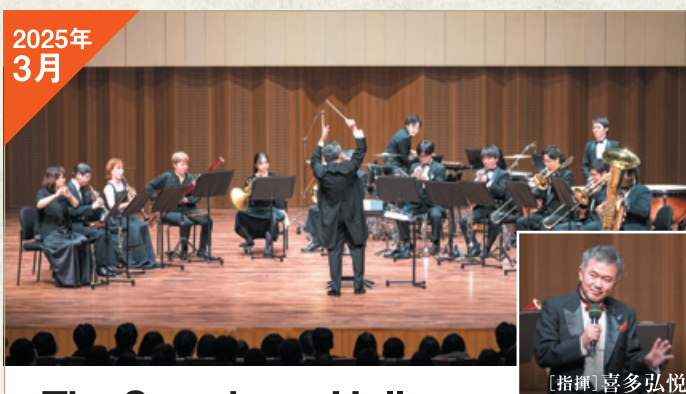
The Symphony Hall DAEGU CONCERT HOUSE

昨年9月にザ・シンフォニーホールと韓国・Daegu Concert House(運営:テグ芸術文化財団)が連携協定を結んで以降、今年3月にはザ・シンフォニーホールが主宰するThe Symphony Hall Super Brassが、「スーパーブラスアンサンブル」としてDaegu Concert Houseにて開催の『国際アンサンブルフェスティバル』に招待され出演。そして今度は、大邱市立交響楽団の日本公演が決定しました! 活発な活動展開にご注目ください!

2024年
9月

韓国・Daegu Concert Houseと 連携協定調印式を実施!

コンサートホールをはじめ、オペラハウスなどを所有しているテグ芸術文化財団が運営するDaegu Concert Houseとザ・シンフォニーホールが連携協定を結び、調印式を実施。「アーティストの出演・演奏プログラムの協力」「施設運営・音響設備・サービスマネジメント人材の交流プログラムの実施」「技術・アイデアの共有」を柱に締結されました。コンサートホール間の関係を発展させるだけでなく、都市間の関係も強化することにも期待して活動を進めていきます。

2025年
3月

The Symphony Hall Super Brassが 韓国・Daegu Concert Houseで公演!

The Symphony Hall Super Brassから厳選された13名がDaegu Concert Houseで「スーパーブラスアンサンブル」として喝采を浴びました。曲目は、モーツァルトの歌劇や序曲に始まり、日本と韓国の伝承音楽を融合した「アリランと赤とんぼ」や「木挽き歌」、後半には日本のアニメ曲とミュージカル曲とウィットに富んだプログラムを披露しました。この成功を記して、9月にはザ・シンフォニーホールが大邱市立交響楽団を日本に招待し、福岡、そしてザ・シンフォニーホールで演奏会を開催。また、11月にはThe Symphony Hall Super Brassが、今度は全員でDaegu Concert Houseにて演奏会を開催する運びとなりました。

[指揮] 喜多弘悦

大邱市立交響楽団 日本公演の開催が決定!!

World Orchestra Festival in Japan

大邱市立交響楽団 大阪公演 ~Daegu Symphony Orchestra~

[福岡] 2025年9月22日(月) 7:00PM

[大阪] 2025年9月25日(木) 7:00PM

アクロス福岡シンフォニーホール

ザ・シンフォニーホール

[指揮] Jin BEAK (ジン ベク) [管弦楽] 大邱市立交響楽団
全席指定 S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円(税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

※9/25(木) ザ・シンフォニーホール公演のみ
シンフォニア会員先行: 5/22(木) 一般発売: 5/25(日)

NEW

大阪公演の
詳細はこちら福岡公演の
詳細はこちら

[曲目]
ラフマニノフ:
ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18
交響曲 第2番 ホ短調 op.27

and more... 2025年11月8日、The Symphony Hall Super Brassの韓国・Daegu Concert Houseでの公演が再び決定!

関空から飛行機でたったの1時間30分。素晴らしい街並み、歴史的建造物、ユネスコ音楽創造市に選定されている大邱市には是非お越しください!!



[指揮] 喜多弘悦

「コロナ禍で演奏会が全くない」「演奏者と音楽愛好者の架け橋となつて、もう一度華やかな舞台を取り戻そう!」そして「これまでになつたことのない、ド派手でかつこい演出を!」ということで3年前にOsaka Shion Wind Orchestraと共に誕生したThe Symphony Hall Super Brass。以来、これまでザ・シンフォニーホールに来たことがないという方たちと、昔からのファンの皆様で大人気のシリーズに発展。今回は、夏休み最初の土曜日に「ジョン・ウィリアムズでぶっちぎり!!」と題して、ジョン・ウィリアムズの映画音楽をフィーチャーします。彼の作り出したとにかく「カッコよくって、ド派手、でも静かに愛を語る」起伏の激しい音楽は人の心を鷲掴みにします。

「空を飛ろ!鳥だ、飛行機だ、いやスーパーマンだ!」のキャッチフレーズで登場した映画『スーパーマン』は歴代シリーズが続く大ヒット作。演奏会はそのメインテーマから始まり、「レイダース・マーチ」。また、現代に突然現れた古代の恐竜たちと人間とのドラマを描いて大ヒットした『ジュラシック・パーク』。そして世界中の人々がその原作本を買いあさり、地球的大ヒットを記録した映画『ハリー・ポッターと賢者の石』と、近所のユニバーサル・スタジオ・ジャパンでも大人気を博した作品たちをお届けします。これだけでも大変な演奏会だが、でも、まだここまでは前半のみ! 休憩後の後半は、超大ヒット映画シリーズ『スター・ウォーズ』の名曲を7連発!!

「スター・ウォーズ・コンサートセレクトション」から始まり、「ファンタム・メナス」から2曲、「フォースの覚醒」から4曲。最後の曲は「ジェダイへの階段」フィナーレへと、1部の最初から、2部の最後まで、どの曲もコンサートファイナルを飾るような名曲だらけ!

たぶん今年も猛暑だろうと思いますが、家族みんなで聴いているだけで全身運動になるようなこの演奏会を、涼しいザ・シンフォニーホールでお楽しみください。

リピーターの多いこの演奏会ですが、初めて来る人のために、お伝えしたいのは、このコンサートは演奏だけでなく、全曲にプロジェクションマッピングによる映像の演出も楽しんでいたこと! 舞台の屋根から客席まで光と映像が音楽とシンクロして、更に感動が広がります。

……この演奏会に向けた企画会議で、「よしやるぞ!」と気合を入れてはみたものの、今、この文章を書いていて、「ちょっとやりすぎたかな?」と少し怖くなってきている指揮者でした。でも「みんなで最後まで

[指揮] 喜多弘悦

[演奏] The Symphony Hall Super Brass

《ジョン・ウィリアムズでぶっちぎり!!》

レイダース 失われたアーク《聖櫃》/ スーパーマン / ハリー・ポッターと賢者の石 / ジュラシック・パーク / スター・ウォーズ ほか

2025. 7/26(土) 3:00PM

全席指定 S 一般 6,600円

S 高校生以下(4~18歳) 3,300円 A 4,400円

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



詳細はこちら

スーパーブラスアンサンブル 3/15(土) 韓国大邱公演レポート



2025年3月15日に韓国大邱市のDaegu Concert Houseで開催された「ザ・シンフォニーホール スーパーブラス アンサンブル」の公演の様子はP7をチェック!

でやりきるぞ!」(十いつものオーブニングとアンコールも付いてます!)是非、楽しいひと時を!お待ちしております。

文 The Symphony Hall
音楽総監督 Super Brass 指揮者 喜多弘悦



「スペシャルゲスト」木村優一(和太鼓)

共演するのは、和太鼓奏者の木村優一。1995年より太鼓演奏の活動を開始し、2011年に太鼓ソリストとしてデビュー。自身の太鼓グループも立ち上げ、「音楽に国境はない」を合言葉に、海外での活動も活発に行っています。

今年3月に歌手のMay J.、5月には古澤巖(ヴァイオリン)&川波幸恵(バンドネオン)をスペシャルゲストに迎え、精力的に活動を展開するThe Symphony Hall Big Band(以下TSHBB)。9月2日に開催が決定したコンサートでは、和太鼓との異色(!?)コラボレーションでお届けします!

8年ぶりの和太鼓との共演 圧巻の響きを存分に!
日本の伝統芸能としてだけではなく、趣味、習い事、体力づくり、エンターテインメントとして老若男女、世界的に大人気の和太鼓。迫力満点の演奏は、聴くものの、五臓六腑々に響き渡り、感動を与えてくれます。

「ザ・シンフォニーホール」の素晴らしい響きとともに和太鼓&ビッグバンドのエネルギーが、生々しい音の空間を是非会場で味わって頂きたいと思っています。皆様のご来場お待ちしております!!」(菊池寿人)

ドン!という圧巻の響き、常に進化し続けるTSHBBのアンサンブル。ここザ・シンフォニーホールでしか体験することのできない音楽をお楽しみに!

7年にもこのTSHBBシリーズにゲストとして登場しており、今回8年ぶり、3度目のコラボ!当初の思い出をミュージックディレクターの菊池寿人(トランペット)はこう振り返ります。

「TSHBBと普通はあまりない組み合わせを考えながら行きたいのが木村優一さんの和太鼓との共演でした。和太鼓の持つ、力強いエネルギーに後押しされてバンドもかなりヒートアップし楽しかったです!!音の圧力、迫力、兎に角すごくて、想像以上の化学反応でした」

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャルゲスト]木村優一(和太鼓)

シング・シング・シング
スペイン
アルマンズ・ルンバ
乱馬
望郷 ほか

2025.9/2(火)7:00PM
全席指定 一般 7,500円 18歳以下 3,300円(税込)
[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583
[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行: 5/22(木) 一般発売: 5/25(日) **NEW** 詳細はこちら

公演間近!

The Symphony Hall
Big Band
Music Director 菊池寿人 vol.26

ータンゴ・タンゴ・タンゴⅢー

2025.5/28(水)7:00PM
全席指定 7,500円 18歳以下 3,300円(税込)

エリーナ・ガランチャ

メゾソプラノ リサイタル 2025

心を激しく揺さぶる異次元の歌唱!
これが真正正銘「大歌手」の歌声!

エリーナ・ガランチャはオペラ歌手としてニューヨークのメトロポリタン歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ウィーン国立歌劇場、ミラノスカラ座、ザルツブルク音楽祭、バイロイト音楽祭など、超一流の歌劇場に出演し続けている世界最高峰のメゾソプラノだ。今回は、2022年のリサイタル、そして昨年のMETオペラと日本の日本公演で、兵庫県立芸術文化センターと東京のサントリホールで歌ったバルトーク「青ひげ公の城」(ユリット)演奏会形式に次いで、の来日となる。その時の、ヤック・ネセルもガランチャの重厚なオーケストラを突き抜けて響く、ガランチャの声の迫力と美しさは比類がなかった。

今回のようなリサイタルの素晴らしいところは、アーティストとしてのガランチャを360度楽しめることだ。彼女にとつての



オペラに関しては、限られた同じ役を歌い続けるのではなく、一つのことを極めたら次なるステージに進むというのがガランチャの流儀だ。若い頃はモーツァルト、そしてロシーニ、ベッリーニ、ドニゼッティなどのベルカントオペラの役を歌い、またリヒャルト・シュトラウスの「ばらの騎士」オクタヴィアンも世界各地で歌ったが、役を卒業することを宣言した。メトロポリタン歌劇場におけるルネ・フレミングと共演した映像が残されているのは、本場には有り難いことだ。それで言えば、同劇場で「バルトーク・アラニア」と共演したビゼー「カルメン」の映像も白眉で

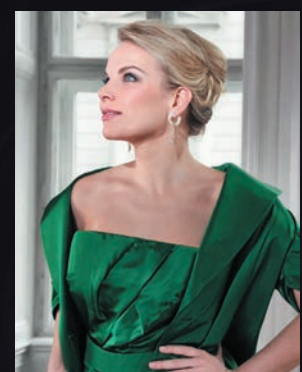
リサイタルは、観客に自分の歌を投げかけて、感情表現を共有し、そこから自分も何かを受け取るという交流ができる場だ。曲目の選択は、オペラ・アリアと歌曲の両方から幅広い作品をチョイスすることが多いようだ。彼女が得意としているオペラに加えて、これから歌てみたい、オペラのアリアを先にお披露目することもある。また、歌う曲の国が多岐に渡っているのも特徴だ。ガランチャは語学が堪能で、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロシア語、そしてスペイン語も流暢に話す。

ガランチャはラトヴィアの出身で、彼女の父親は合唱指揮者、母親は彼女と同じメゾソプラノで、リート歌手であるかたわら音楽を教えていた。ガランチャは子供の時から、ピアノを学んでいたが、彼女の夢は女優になることだった。だが、その道に挫折した時、母親に「あなたは将来をやりたいの?」と尋ねられ、「私は歌をやりたい」という答えが自然に出てきたという。それから、彼女が歌に全ての力を注いできた。ガランチャがドイツ語で出した自伝によると、彼女は学生時代、「母親が有名な先生だもの」と言われるのが悔しくて、自分の実力で人々を納得させるよう努力を重ねてきたのだという。

最近のガランチャが得意としている役は、ヴェルディ「ドンカルロ」のエボリ公女、そして長年彼女が「自分にとつての太レストである」と言って夢見てきたヴェルディ「アイダー」のアムネリス、そしてマスカニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」の情熱的なサン・トゥツァなどである。バイロイト音楽祭で歌ったワグナー「パルジファル」のグンドリーも忘れてはならないだろう。彼女が、今後歌てみたい役としてあげているのは、ワグナー「ローエングリン」のオルトルート、そしてヴェルディ「イル・トロヴァトーレ」のアズチーナだ。その日が来たら、彼女のドラマティックで深い表現がこれらの役に新しい光をあててくれるに違いない。

ガランチャは出身地のリガとスペイン南部に家を持ち、夫である指揮者のカル・マーク・チヨ(今回オペラ・コンストラ・コンサートでは彼女がタクトを取る)と二人の娘たちと暮らしている。彼女は成人するまで両親とラトヴィアの里に暮らしていたが、夏の間は祖父の家がある田舎の農家で過ごし、そこで飼っていた牛の乳搾り、豚の餌やり、羊の毛刈りまでこなしていたという。華やかなオペラの世界の頂点に立ちながら、

ある。その時に「25年に度のカルメン」と評されたガランチャのカルメンは、今回もリサイタルの演目に入っている。この上なく芳醇な響きの声で歌われるカルメンを堪能できるだろう。



エリーナ・ガランチャ メゾソプラノ リサイタル 2025

ビゼー: 歌劇「カルメン」より「ハバネラ」
サン＝サーンス: 歌劇「サムソンとデリラ」より「あなたの声に私の心も開く」
ブラームス、ラフマニノフ 厳選歌曲集 他

2025.6/23(月) 19:00PM
SS 19,000円 S 15,000円 A 13,000円(税込)

[お問い合わせ] キョードーインフォメーション 0570-200-888 (平日12:00~17:00 土日祝休業)
[主催] 読売テレビ / リバティ・コンサーツ / ザ・シンフォニーホール
[企画・制作・招請] テイト・コーポレーション

発売中

公演情報はこちら

2022年来日時のピアニストは、ガランチャが長年共演を重ねてきたマルコム・マルティノだった。今回、彼女と共演するピアニストは、最近多くのリサイタルで彼女と共演しているドイツ人のマティアス・シムツである。今年からチューリッヒ歌劇場の総支配人を務めるシムツは、ピアニスト、室内楽奏者、リートの伴奏者などで活躍するが、劇場運営や教育プログラムも手掛けてきた経歴の持ち主。近年、若手オペラ歌手の育成に力を注いでいるガランチャとも気が合うだろう。「二人の作り出す極上の音楽を楽しめる日はもう間もなくだ。」

2022年に演奏活動60周年、2023年には傘寿を迎えたヴァイオリニスト前橋汀子の活動から目が離せない。バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ全曲」を2度目のリリ―ス後、ベートーヴェンの弦楽四重奏にもう一度チャレンジしたいと前橋汀子カルテット(1stヴァイオリン前橋汀子、2ndヴァイオリン久保田巧、ヴィオラ川本嘉子、チェロ原田禎夫)を結成し、全国で演奏会を開催。そして、再度ベートーヴェンのソナタを集中的に勉強し、ソナタ第5番「春」や第9番「クロイツェル」などと、ヴァイオリンの小品(前橋は、短い曲の中に作曲家

の思いやヴァイオリンの魅力が詰まっている小品を好んで取り上げている。彼女の師匠シゲティヤミルシテインも生涯に渡って弾き続けたそう。しかし納得のいく演奏は未だに出来ないとのこと)を組み合わせたコンサートを行った後、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全10曲をCD全集として今年2月にリリース。



指揮 キンポー・イシイ

© 白土吉枝

突然の怪我、そして見事に復帰
常に有言実行の前橋汀子が、昨年7月に医者から「肩腱板断裂」の診断を受けて半年間演奏活動を停止。さすがに年齢的な事からも復帰は厳しいのではという声も聞かれたが、手術、入院、リハビリを経て、今年2月に完全復活を果たす。復帰リサイタルを成功させ、この先何をしたいか聞かれた前橋は「ブラームスのヴァイオリン協奏曲をもう一度弾きたい。幾度となく弾いて来たが、いつもどこか不完全燃焼だった。今なら違う手応えが得られるはず」と答えて、周囲を驚かせた。



© 岡本隆史

「ヴァイオリン協奏曲」が実現！
前橋汀子が「もう一度ブラームスの協奏曲を」と願うと、それが叶うのが凄いところ。前橋の演奏をまだまだ聴きたい！と願うファンがそれだけ沢山いるという事なのだろう。会場はこざ・シンフォニーホールで、今年の11月23日(日・祝)、前橋汀子ヴァイオリン独奏によりブラームスのヴァイオリン協奏曲二長調op.77とメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲ホ短調op.64、サン＝サーンスの序奏とロンドカプリチオーソop.28が決まった。指揮は昨今、活躍が目覚ましいキンポー・イシイで、オーケストラは日本センチュリー交響楽団。キャリア63年の前橋は、年齢や経験からも「巨匠」と呼ぶべきポジションなのかもしれないが、本人はバリバリの現役にこだわっており、「巨匠」と呼ぶのは躊躇ってしまう。「怪我の功名で、前より体幹を鍛えたこともあり、以前より調子が良い」と前橋が語る通り、素晴らしいブラームスとメンデルスゾーンの協奏曲が聴けるに違いない。今ここに、名演誕生の予感が…。このコンサートだけは聴き逃すわけにはいかない。

(文 磯島浩彰)

[ヴァイオリン]前橋汀子 [指揮]キンポー・イシイ
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
サン＝サーンス：序奏とロンドカプリチオーソ op.28

2025.11/23(日・祝) 2:00PM
全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/22(木) 一般発売：5/25(日) NEW 詳細はこちら



© 井上嘉和

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

オルガン名曲決定版 2025 富田一樹

Kazuki Tomita

オルガンリサイタル



© 加納典明

大阪出身のオルガニスト富田一樹が、ドイツのライプツィヒで開かれた「第20回バッハ国際コンクール」のオルガン部門で、日本人として初めて優勝したのは2016年7月のこと。ショパンやチャイコフスキーなど、作曲家の名前が冠された国際コンクールの情報は気に留めて来たが、「バッハ国際コンクール」という名称を聞いた時、ちよつと新鮮で、嬉しかった記憶がある。大好きなバッハとの距離が、少し近くなったような感じがした。

「日本人もやるなー！え、受賞者って大阪出身なん？！」音楽専門誌だけでなく、一般紙やテレビ番組「情熱大陸」でも取り上げられ、たいへん注目されたが、あれから10年近くが経過し、富田の存在は関西音楽界ではすっかり身近なものになった。オーケストラのオルガン付きの曲(サン＝サーンス交響曲第3番「オルガン付」R. シュトラウス「ツアラトウストラはかく語りき」、レスピーギ「ローマ三部作」など)や、大編成の「レクイエム」「受難曲」から、教会で演奏する室内楽のオケ中のオルガンまで、彼の姿は意外な所でよく見かける。オルガンだけでなく、通奏低音奏者としても活躍する富田。演奏することが大好きで、オルガンの普及をライフワ

[オルガン]富田一樹

J.S.バッハ：幻想曲とフーガ ト短調 BWV542「大フーガ」
J.S.バッハ：「G線上のアリア」BWV1068-2 (オルガン版)
D.ブクステフーデ：前奏曲 八長調 BuxWV137
G.ベーム：コラール「天にましますわれらの父」
W.A.モーツァルト：自動オルガンのためのアンダンテ K.616
L.ボエルマン：オルガンのための「ゴシック組曲」op.25

2025.11/9(日) 2:00PM
全席指定 3,300円(税込) ※休憩なし。約60分間のコンサートです。
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/22(木) 一般発売：5/25(日) NEW 詳細はこちら



れる「富田一樹オルガンリサイタル」で、皆さんお会いしましょう。
(文 磯島浩彰)



「ギター」
村治佳織
Kaori Muraji

Interview

©Kiyotaka Saito

——スペインのオーケストラと「アランフェス協奏曲」で協演しますね。私にとって大事な曲です。5年と間隔を空けず100回近く弾いていますが、決して飽きることはありません。人生の心象風景を曲が覚えてくれていて、曲とともにギタリスト人生を歩んでいきたいと思っているくらいです。かつてロドリゴさんとお会いする機会があり、曲への愛情が増しました。アランフェス宮殿の礼拝堂で演奏したこともありますが、お客さまには第1楽章と第3楽章のよさにも気づいていただけたらうれしいです。曲全体を通して、ロドリゴさんが表現したかったものをお伝えできればと思います。

——デビューから30年あまり、曲やギターへの向き合い方にどんな変化がありますか。

初めは技術を高め、弾くのに一生懸命でした。弾き続ける中で、以前は曲に包み込んでもらっているような感覚だったのが今では自分も曲の流れの中の一部になり、入り込んでいくのだと感ぜられるようになりました。あと何回弾けるのかな、との思いも湧きます。幼いころに基礎練習が大事だったのとは形を変えて、長く弾き続けていくのには基礎練習、ギターとじっくり向き合うことが大事になっていきます。ただ、肩肘張って上を目指すような考え方は近ごろ

していません。今あることに感謝する。休養期間を経て、休むことは上手になったのかなと思います。

——今年のハイライトとなる演奏会、ギターの繊細な表現味わう

——オケとの一連のツアーの最終地が大阪、ザ・シンフォニーホールになります。どんな印象をお持ちでしょうか。

10代のころから数多く、大阪府内のさまざまな場所を訪れています。ギター熱も盛んで、熱心なファンもたくさんいらつしやいます。より大阪を楽しみたいと数年前、ギターを持たず旅をしたことがあります。友人とたこ焼き屋、居酒屋とはしこをしてグルメを堪能できて、コンサートに向かう緊張感を抜きにした、違つ大阪が見えました。ザ・シンフォニーホールは広い空間ですが、客席が近く感じられます。今年は夏にもリサイタルがあります。一人のステージと、熱気むんむんのステージを2回楽しめる。2025年の自身のハイライトです。

——公演を心待ちにする方々へのメッセージをお願いします。

オケの曲、ピアノ協奏曲、ギター協奏曲を一度に味わえるコンサートはそう多くなく、私も客席で味わいたいほどです。芸術の秋の到来を今から楽しみにしていてください。スペインは文化の混じり合う、

[指揮]ジョセップ・ヴィセント [ギター]村治佳織
[ピアノ]マルティン・ガルシア・ガルシア
[管弦楽]スペインADDA交響楽団

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 op.21
ロドリゴ：アランフェス協奏曲
ラヴェル：ボレロ

2025.11/8(土)2:00PM
全席指定 S 15,000円 A 12,000円 B 9,000円
C 5,000円(税込)

[お問い合わせ]日本アーティストチケットセンター
03-5305-4545
[主催]日本アーティスト／ザ・シンフォニーホール

発売中

詳細はこちら



©Darek Golik (NIFO)

一括りにできない多様性のある国です。大阪の明るさなどと共通するところがあるかもしれません。ヴィセントさん、ガルシアさんとの出会いも楽しみにしております。

(取材文 最上聡)



ベートーヴェン×プロコフィエフ 上原彩子 ピアノ・リサイタル

NEW
RELEASE

2002年に「第12回チャイコフスキー国際コンクール」で女性として、また日本人として初めて第1位を獲得して以来、国際的に活躍する上原彩子。ザ・シンフォニーホールにはリサイタルや「熱狂コンチエルト」にしばしば登場。最近では今年の2月の「熱狂コンチエルト」で演奏したブラームスのピアノ協奏曲第1番が、規格外の演奏とスケールの大きな音楽で、聴衆の心を捉えて離さなかった。現在最も勢いがあり、聴くべきピアニストの一人ではないか。

ザ・シンフォニーホールでのリサイタルは、特別なプログラム！

上原は2024年3月から8年の歳月を掛け、それまでどちらかというと苦手意識を持っていたベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏会（全32曲）をスタートさせる傍らで、2025年5月にはプロコフィエフの「戦争ソナタ」全3曲を弾き切るリサイタルを開催。そんな中、11月に開催されるザ・シンフォニーホールのリサイタルでは、ベートーヴェンのピアノソナタ第8番「悲愴」第14番「月光」と、プロコフィエフの「戦争ソナタ」から第6番と第7番という美しい所取りのプログラムを演奏してくれる。3人の子供を育てながら、東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター准教授として教育活動に取り組み、今が旬のピアニストとしてクラシック音楽界を牽引する。上原彩子の活動から目が離せない。

(文 磯島浩彰)

[ピアノ]上原彩子

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13「悲愴」、ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」／プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ 第6番 イ長調 op.82「戦争ソナタ」、ピアノ・ソナタ 第7番 変ロ長調 op.83「戦争ソナタ」

2025.11/15(土)2:00PM
全席指定 5,000円(税込)
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/22(木) 一般発売：5/25(日) **NEW** 詳細はこちら



福間洸太郎 Fukuma Kotaro ピアノ・リサイタル

NEW
RELEASE

©Shuga Chiba

世界で活躍する人気ピアニスト福間洸太郎の放つショパンとラヴェルの高雅な香り。クリエヴァンド国際ピアノコンクール優勝後、昨年にデビュー20周年を記念する全国ツアーを成功させるなどその活動にいつその輝きと深みをみせる福間洸太郎。ヨーロッパと日本を拠点として活躍する彼のリサイタルは毎回がピアノ好きならば絶対に夢になる内容となるが、今回は「高雅な響を求めて」と題してのステージ。

前半にショパンの「華麗なる大円舞曲op.18」「スケルツォ第2番op.31」「4つのマズルカop.17」などエレガントときに躍動感を持つ名品を中心に並べ、後半は今年生誕150年のラヴェルの「高雅で感傷的なワルツ」「亡き王女のためのパヴァーヌ」に加えて自身の編曲による「ラ・ヴァルス」などを組みあわせて、まるで当時の芸術家たちが集うサロンの世界をイメージさせる魅力的な選曲となった。ショパンの詩情とフランス近代に生きたラヴェルの洗練されたモダニズムとが福間のクリスタルで明晰なピアノニズムによって紡ぎだされる耽美な時間。彼自身絶賛するザ・シンフォニーホールの芳醇なソノリティの中で存分に味わいたい。

(文城間勉／音楽ライター)

[ピアノ]福間洸太郎

「高雅な響を求めて」 ショパン：華麗なる大円舞曲 op.18、4つのマズルカ op.17、ボレロ op.19、ノクターン第18番 op.62-2、スケルツォ第2番 op.31／ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ、高雅で感傷的なワルツ、ラ・ヴァルス(福間編曲)

2025.11/24(月・休)2:00PM
全席指定 5,000円(税込)
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/22(木) 一般発売：5/25(日) **NEW** 詳細はこちら



©Stefano Pasqualetti

【指揮】ジャンランドレア・ノセダ

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を初恋のような気持ちで弾いています

——演奏会ではメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を弾かれますが、どうしてメンデルスゾーンを選んだのですか？

オーケストラからのリクエスト

——この夏、ソリストとして参加されるナショナル・ユースオーケストラUSAの日本公演について、お話ししていただけますか。

ナショナル・ユースオーケストラUSAは、みなさんが御存じのカーネギーホールに、アメリカ中の選りすぐりの優秀な青少年が集って編成されているオーケストラです。彼らとの共演のオフア

がきたときは、とても興奮しました。そして今回は、ワシントン・ナ

ショナル交響楽団音楽監督のジャン

ランドレア・ノセダさんとの初めて

の共演も楽しみです。

アメリカには16歳から暮らして

いて、私にとって第2の故郷である

ので、アメリカに恩返しするのは大

切な務めだと思っています。将来

プロになるような若者たちに良い

経験をさせるのは重要なことです。

——メンデルスゾーンのヴァイオリ

ン協奏曲のどういうところに魅

力を感じますか？

瑞々しさに惹かれますね。静けさ

から激しさまでのコントラストもわ

ざとらしくなく、何回弾いても新鮮

な気持ちになります。私は、毎回

初恋のような気持ちで弾いていま

す。これだけ有名な曲で聴衆のみな

さんに初めて聴くような気持ちにな

っていただくように弾くのは私にと

ってチャレンジングなことです。

——ナショナル・ユースオーケス

トラUSAは16歳から19歳までの

オーケストラですが、青少年オーケ

ストラとの共演はいかがですか？

青少年オーケストラとの共演は

喜びでしかありません。彼らは短

期間で信じられないような成長を

遂げます。まるで別のグループの

ようになります。そういうことは

プロのオーケストラでは経験でき

ません。彼らとの共演はすべての

コンサートが祝祭になります。

彼らには、自分の成長に気づか

せ、自信をつけさせることが大切

だと思います。また、親密で温

かい音がほしいとき、プロのオー

ケストラでは言葉だけで済みます

が、彼らとの共演では、やってみ

ないといいません。

——ご自身は16歳でアメリカに渡

られましたね。

家族から離れて、地球の反対側へ

来て、不安と期待と楽しみで一杯で

した。親から「早く寝なさい」とか

「練習しなさい」とかいわれなくなり

ました(笑)が、カーティス音楽院は

当時学生寮がなかったので、自炊を

しなければなりません。そして

大人としての生活を始めました。

——2017年のザ・シンフォニー

ホールでのリサイタルはマイルス

トーンでした

——日本には何度も来られています

が、とくに印象に残っていること

は何ですか？

数えきれないほど日本を訪れて

いますが、最初に来日したのは、

1998年、8歳のときでした。

私はずき・メソッドだったので、

長野冬季オリンピック関連で招か

れ、500人の子供たちのなかで

演奏したのです。ホスト・ファ

ミリーの家に泊まり、ヴァイオリ

ンでいろいろなことができること

を知り、そのとき音楽家になりた

いと思いました。

——大阪の街についてはいかがで

すか？

2012年のノーベル賞の授賞

式で演奏したときに知り合った山

中伸弥教授と親しくしていただい

て、大阪に来るたびに食事を共に

させていただいています。山中教

授は、私がどんなに成長したかを

言ってくださる、私のメンターな

のです。

——ザ・シンフォニーホールでは

2017年にバッハの「無伴奏ヴァ

イオリンのためのソナタとバル

ティータ」全曲を弾きましたね。

2017年にバッハの無伴奏曲

全曲でリサイタルをひらきまし

た。私にとって、マイルストーン

となる、大切なコンサートでした。

あのときは、ホールが私にインス

ピレーションと自信と勇気を与え

てくれて、ホールが私を助けてく

れました。大阪の聴衆のこともよ

く覚えています。私にとって、あ

る意味、私を一人前にしてくれた

コンサートでした。

——最後にメッセージをお願いい

たします。

大阪の聴衆のみなさんが気持ち

をストレートに出してくださるの

はうれしいですね。自分も感情を

出すようにします。私は大阪スタ

イルが大好きです。

(取材・文 山田治生)



© 鈴木久美子

「ヴァイオリン」

レイ・チェン

RAY CHEN

Interview



ヴァイオリニスト、レイ・チェンが今年7月のナショナル・ユースオーケストラUSAの初来日公演にソリストとして帯同する。彼は、1989年、台湾に生まれ、オーストラリアで育ち、2005年、フィラデルフィアのカーティス音楽院に入学した。2008年のユディ・メニューイン国際コンクールと2009年のエリザベート王妃国際コンクールで優勝し、以来、世界的に活躍している。今回、演奏するのはメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲。新しい世代を代表するヴァイオリニスト、レイ・チェンが若者たちとどんな化学反応を起こすのか非常に楽しみである。



©2024 Chris Lee

【管弦楽】ナショナル・ユースオーケストラUSA

【指揮】ジャンランドレア・ノセダ 【ヴァイオリン】レイ・チェン
【管弦楽】ナショナル・ユースオーケストラUSA

カルロス・サイモン：祝典ファンファーレと序曲
(ポストン交響楽団・カーネギーホール共同委嘱新作)
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
ラフマニノフ：交響曲 第2番 ホ短調 op.27

2025. 7/24 (木) 7:00PM
全席指定 S 8,000円 A 6,000円 B 3,000円(税込)
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



詳細はこちら

熱狂コンチェルト 2025

真夏のチャイコ3連投!!

名手たちによる真夏のチャイコフスキー尽くし

世界の3大コンクールを
席卷した3人が一挙に!

「ピアノ」**横山幸雄** × 「ヴァイオリン」**川久保賜紀** × 「チェロ」**佐藤晴真**

Interview 後編

——皆さん、日本センチュリー交響楽団とは何度も共演されていますね。

佐藤 2020年にシヨスタコーヴィチ晩年の作品であり演奏されないチェロ協奏曲第2番を、急遽代役で弾かせてもらったのが最初で、その後も、憧れの久石譲さんの指揮でエストニアの現代作曲家レポ・スメラのチェロ協奏曲を弾いたり、とにかく強烈な印象を残す共演ばかりです。

川久保 何度も演奏しているようなお馴染みの曲と一緒にやっても真摯なエネルギーを感じるし、いつも気持ち良く弾けるんです。

横山 協奏曲だけでなく、昨年は指揮者としてザ・シンフォニーホールで大阪デビューを果たした時も好サポートしていただきました。

——今回は2021年に同じチャイコフスキーがテーマの「熱狂コンチェルト」を指揮する予定が、コロナ禍で叶わなかった飯森範親さんが満を持しての登場になります。

佐藤 交響曲を振られるイメージが強かったのですが、2022年に名古屋で人生初のシューマン、しかも、難曲「コンチェルト」で一緒に結した時のリハーサルが素晴らしいので、ドイツ・ロマン派の世界に

——皆さん、大阪での演奏はありますか？

川久保 何のひねりもないけど、やっぱりたこ焼きとお好み焼きは外せませんね。

佐藤 僕は行きつけの古着屋さんがあって、前回買った革の白いベストがとても気に入ったので

——この夏、いちばん熱い公演になりそうですね！

横山 大阪の自分の家に帰るような感覚で、リラクセスした気持ちでステージに立つと思います(笑)。

佐藤 僕もあの控え室までの赤い絨毯が大好き(笑)、凄く落ち着きます。

川久保 ステージとお客さんとの距離感が近く、親密な雰囲気の中で美しい響きに包まれる、あの感覚が素敵です。

[指揮]飯森範親 [ピアノ]横山幸雄 [ヴァイオリン]川久保賜紀
[チェロ]佐藤晴真 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

チャイコフスキー：ロココの主題による変奏曲 イ長調 op.33
：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

2025.8/3(日)2:00PM
全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



詳細はこちら



[指揮]飯森範親

© 山岸伸

また：横山 自分の店が気になるのでそのまま京都に行ってしまうことが多いのですが、お誘いいただければどこへでもお供いたしますよ！
(取材・文 東端哲也)

真夏のオルガンコンサート 2025

第25代札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニスト
「オルガン」**ファニー・クソー**
Fanny Cousseau

数々の名手が印象深い演奏を展開してきたザ・シンフォニーホールのオルガンコンサート。スイスのクーン社製の名器の響きは関西の音楽ファンに広く親しまれているが、この夏フランス出身で札幌コンサートホールKitaraの専属オルガニストの募集を聞き、応募。見事第25代オルガニストに就任した。2024年より札幌に住み、北海道の音楽ファンにオルガンのすばらしさを伝えるべく尽力中だ。インタビューではなんと「寒いのは大の苦手です」と打ち明けてくれたが、札幌に在る間に雪まつりには必ず訪れたいなど、初来日ながら日本文化に興味津々だった。なお「暑さには強いので大丈夫です」とのこと、酷暑の大阪は全く問題ないそうだ。メシアン国際コンクールなどで入賞していただけに、近現代フランス音楽も得意のレパート

リーだが、今回の大阪のリサイタルではオール・バッハ・プログラムを組んだ。フランスではオルガンにあまりなじみのない人たちに向けてのコンサートもしばしば開催してきたというが、「バッハは初心者の方にも、そしてオルガンをよく聞く方にとっても、楽しんでいただけるレパートリーだと思います」とクソー。バッハの壮大な二短調の《トッカータとフーガ》はまさにオルガンの王道曲で、この楽器ならではの輝かしい響きを楽しみにしたい。また《G線上のアリア》、コラール《目覚めよと呼ぶ声あり》などもとりあげる予定で、バロックの巨匠の世界をオルガンで味わうことのできる絶好の機会となる。

[オルガン]ファニー・クソー
(第25代札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニスト)

J.S.バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565 / オルガン協奏曲 イ短調 BWV593より 第2楽章 / オルガン協奏曲 二短調 BWV596より 第3楽章 / 前奏曲とフーガ ト長調 BWV541より「前奏曲」 / 管弦楽組曲第3番 二長調 BWV1068より 第2楽章「G線上のアリア」 / フーガト短調「小フーガ」BWV578 / コラール「目覚めよと呼ぶ声あり」BWV645 / コラール「われいずこに逃れ行かん」BWV646 / バッサカリヤとフーガ 八短調 BWV582

2025.8/2(土)2:00PM
全席指定 2,750円(税込) ※休憩なし。約60分間のコンサートです。
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

詳細はこちら

その選択で演奏がかなり変わってきます。リハーサルには最低10時間は必要ですので、大阪にも数日滞在する予定です。東京につぐ大都市としての大阪はフランスでもよく知られているんです。旅行ガイドなどで得た情報だけではなく、現地の人たちに話を聞いて、観光も満喫したいです。今年は大阪・関西万博も開催され、賑わいを見せる大阪。クソーのオルガンが華やかに響くのが待ち遠しい。

(文 伊藤制子)



【指揮】クリスティアン・アルミンク
【ピアノ】マリア・ジョアン・ピリス
【ソプラノ】石橋栄実 【管弦楽】広島交響楽団

演奏会前半には、円熟の名ピアニスト、マリア・ジョアン・ピリスが登場し、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を弾く。ポルトガル出身の彼女は、アバド、ハイティンク、シャイラーの巨匠指揮者から厚く信頼され、これまでに、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ロンドン交響楽団など世界最高峰のオーケストラと共演を重ねる。そして80歳を超

【指揮】クリスティアン・アルミンク
【ピアノ】マリア・ジョアン・ピリス
【ソプラノ】石橋栄実 【管弦楽】広島交響楽団

演奏会前半には、円熟の名ピアニスト、マリア・ジョアン・ピリスが登場し、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を弾く。ポルトガル出身の彼女は、アバド、ハイティンク、シャイラーの巨匠指揮者から厚く信頼され、これまでに、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ロンドン交響楽団など世界最高峰のオーケストラと共演を重ねる。そして80歳を超

【指揮】クリスティアン・アルミンク
【ピアノ】マリア・ジョアン・ピリス
【ソプラノ】石橋栄実 【管弦楽】広島交響楽団

演奏会前半には、円熟の名ピアニスト、マリア・ジョアン・ピリスが登場し、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を弾く。ポルトガル出身の彼女は、アバド、ハイティンク、シャイラーの巨匠指揮者から厚く信頼され、これまでに、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ロンドン交響楽団など世界最高峰のオーケストラと共演を重ねる。そして80歳を超

【指揮】クリスティアン・アルミンク
【ピアノ】マリア・ジョアン・ピリス
【ソプラノ】石橋栄実 【管弦楽】広島交響楽団

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58
マーラー：交響曲 第4番 ト長調

2025.8/7 (木) 7:00PM
全席指定 S 11,000円 A 9,000円(税込)
※小・中・高校生はS席・A席とも半額
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
【主催】公益財団法人 広島交響楽協会／ザ・シンフォニーホール

発売中

詳細はこちら

【指揮】クリスティアン・アルミンク
【ピアノ】マリア・ジョアン・ピリス
【ソプラノ】石橋栄実 【管弦楽】広島交響楽団

演奏会前半には、円熟の名ピアニスト、マリア・ジョアン・ピリスが登場し、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を弾く。ポルトガル出身の彼女は、アバド、ハイティンク、シャイラーの巨匠指揮者から厚く信頼され、これまでに、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ロンドン交響楽団など世界最高峰のオーケストラと共演を重ねる。そして80歳を超



【指揮・お話】キンボー・イシイ
【ヴァイオリン】松本蘭

【司会】空井仁美 【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

<第1部>アンダーソン「舞会的美女」／シュトラウス2世「アンネン・ボルカ」／マスネ「タイスの瞑想曲」／ドヴォルザーク「ユーモレスク」／エルガー「愛の挨拶」／バルトーク「ルーマニア民族舞曲」より 第1番、第5番／ベートーヴェン「交響曲 第5番「運命」」第1楽章
<第2部>ビゼー「歌劇「カルメン」より「第1幕への前奏曲」／マスカーニ「歌劇「カヴァレリア・アルスティカーナ」」間奏曲」／ブラームス「ハンガリー舞曲 第5番」／日本民謡メドレー(D、ハウエル編)／越中おわら節(富山)～南部牛追い唄(岩手)～谷茶前節(沖縄)～会津磐梯山(福島)／ビゼー「劇音楽「アルルの女」より「ファランドール」

2025.8/5 (火) 2:00PM
全席指定 4,400円(税込) ※4歳以上のお子様から入場可能です。
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
【主催】公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
ザ・シンフォニーホール

発売中

詳細はこちら

【指揮・お話】キンボー・イシイ
【ヴァイオリン】松本蘭

【司会】空井仁美 【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

<第1部>アンダーソン「舞会的美女」／シュトラウス2世「アンネン・ボルカ」／マスネ「タイスの瞑想曲」／ドヴォルザーク「ユーモレスク」／エルガー「愛の挨拶」／バルトーク「ルーマニア民族舞曲」より 第1番、第5番／ベートーヴェン「交響曲 第5番「運命」」第1楽章
<第2部>ビゼー「歌劇「カルメン」より「第1幕への前奏曲」／マスカーニ「歌劇「カヴァレリア・アルスティカーナ」」間奏曲」／ブラームス「ハンガリー舞曲 第5番」／日本民謡メドレー(D、ハウエル編)／越中おわら節(富山)～南部牛追い唄(岩手)～谷茶前節(沖縄)～会津磐梯山(福島)／ビゼー「劇音楽「アルルの女」より「ファランドール」

2025.8/5 (火) 2:00PM
全席指定 4,400円(税込) ※4歳以上のお子様から入場可能です。
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
【主催】公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
ザ・シンフォニーホール

発売中

詳細はこちら

【指揮・お話】キンボー・イシイ
【ヴァイオリン】松本蘭

【司会】空井仁美 【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

<第1部>アンダーソン「舞会的美女」／シュトラウス2世「アンネン・ボルカ」／マスネ「タイスの瞑想曲」／ドヴォルザーク「ユーモレスク」／エルガー「愛の挨拶」／バルトーク「ルーマニア民族舞曲」より 第1番、第5番／ベートーヴェン「交響曲 第5番「運命」」第1楽章
<第2部>ビゼー「歌劇「カルメン」より「第1幕への前奏曲」／マスカーニ「歌劇「カヴァレリア・アルスティカーナ」」間奏曲」／ブラームス「ハンガリー舞曲 第5番」／日本民謡メドレー(D、ハウエル編)／越中おわら節(富山)～南部牛追い唄(岩手)～谷茶前節(沖縄)～会津磐梯山(福島)／ビゼー「劇音楽「アルルの女」より「ファランドール」

2025.8/5 (火) 2:00PM
全席指定 4,400円(税込) ※4歳以上のお子様から入場可能です。
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
【主催】公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
ザ・シンフォニーホール

発売中

詳細はこちら

来場者全員に
自由研究にそのまま使える
"研究シート"を
プレゼント!

※画像はイメージです

8.5 (木) 14:00 ザ・シンフォニーホール



「ピアノ」金子三勇士

日本とハンガリーの外交開設150年記念だった2019年。ハンガリー・ブダペスト交響楽団が来日し、秋篠宮ご一家臨席のもと祝賀コンサートが開催された。このとき、リストのピアノ協奏曲 第1番で華麗な演奏を披露したのが、日本とハンガリーにルーツを持つピアニストの金子三勇士であった。1989年生まれの金子は、早くからその才能に注目が集まっていたが、2008年にバルトーク国際コンクール優勝で一躍脚光を浴び、2011年のデビュー・シーズンにはザ・シンフォニーホールでもリサイタルを開催。日本、ハンガリー双方で学んだ彼は目の覚めるような鮮やかなテクニックで魅せつつ、それぞれの作品のスタイルへの深い理解に裏打ちされた表現力をもつ知的なピアニストである。デビューから10年以上をへて、現在は

「ピアノ」金子三勇士
絶技巧も含むだけに、金子の冴えたピアノに期待したい。深淵な抒情味を感じさせるリスト作品は少なくないが、《泉のほとり》《ペトラルカのソネット 第

日本を代表する奏者として成長して数多くの公演に出演しているが、ひさしぶりに大阪のザ・シンフォニーホールに戻ってくるのはうれしいかぎりだ。
久しぶりのザ・シンフォニーホールで得意のリストとベートーヴェンを披露
前回の大阪公演は、奇しくもリスト生誕200年イヤーだった。幅広いレパートリーをもつ金子だが、やはりリストやバルトークといったハンガリー作品はもともと得意とするところだろう。今回の公演では、リストそしてベートーヴェンというプログラムを組んでいる。ピアニストとしても活躍したベートーヴェンのピアノニズムは、その弟子を通じてリストにも受け継がれており、両者はピアノ奏法の点でも深い関係をもつ。リスト作品からは既に録音もしている《ラ・カンパネラ》。そして《リゴレット・パラフレース》を選んだ。ヴェルディの名オペラに基づく《リゴレット》は超絶技巧も含むだけに、金子の冴えたピアノに期待したい。深淵な抒情味を感じさせるリスト作品は少なくないが、《泉のほとり》《ペトラルカのソネット 第

「ピアノ」金子三勇士

リスト：ラ・カンパネラ バガニーニによる大練習曲集 第3番 嬰ト短調より
泉のほとり 巡礼の年 第1年～スイスより
リゴレット・パラフレース
ペトラルカのソネット第104番 巡礼の年 第2年～イタリアより
ハンガリー狂詩曲 第12番 嬰ハ短調
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 op.13「悲愴」
ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 op.57「熱情」

2025.8/23(土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

お問い合わせ) ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



詳細はこちら

(文 伊藤制子)

104番」といった諸作品を金子がどう解釈するかも注目である。プログラム後半はベートーヴェンの名作ソナタが2曲。どちらも傑作中の傑作で、《悲愴》にみられるドラマ性、そして《熱情》でのスケールの大きな壮麗さなど、ベートーヴェンの世界を堪能させてくれることだろう。大阪・関西万博で世界中から注目を浴びている今年の大阪の地で、俊英によるリサイタルはひととき印象深いものになることまちがいない。



「オルガン」大木麻理

パイプオルガンの荘厳な響きと、プロジェクションマッピングの映像美が創り出すファンタジーな世界でお贈りする至福のひと時。多くのファンを持つ「超絶の」を冠した大人気シリーズが、「新超絶のオペラ座の怪人」と銘打ってミュージカルの代名詞を次々と聴かせてくれる。「オルガンが活躍するミュージカルと言えど？」の問いには、多くの方がアンドリュ・ロイド・ウェバーの「オペラ座の怪人」と答えるのではないのか。このシリーズでオルガンを演奏する日本有数のオルガニスト大木麻理は「今回はプログラムすべてを編曲し直していただきました。これにより音楽的にもパワーアップしたバージョンを届けられると自負しています。リピーターの方にも新鮮な感動をお届け出来るのではないのでしょうか」と熱く語る。この名曲を、ザ・シンフォニーホールが誇るスイスの名門「クレーン社」製パイプオルガンで楽しむチャンスがやって来た。

空前のミュージカルブームと言われる昨今、これらの曲をオーケストラの演奏で聴く機会は増えたが、パイプオルガンでの演奏は珍しい。大木麻理の奏でるオルガンに、打楽器も加わり、迫力を後押しするだろう。ザ・シンフォニーホールの

新旧の人気ミュージカルが並ぶプログラムは圧巻の一言!
今回のプログラムを覗くと、今年8月から9月にかけて、全国4都市でオーケストラコンサートが決まっている「レ・ミゼラブル」や「メモリー」で有名なアンドリュ・ロイド・ウェバーの『キャッツ』、デイズニーが演劇ビジネスに初進出した記念碑的な作品『美女と野獣』、スウェーデン出身のポップ音楽グループABBAのヒット曲で綴られたジュークボックス・ミュージカル『マンマ・ミーア!』、劇団四季が現在も大ヒット上演中の『ライオン・キング』、1975年にブロードウェイで初演されたミュージカルの名作古典『コーラスライン』、リチャード・ロジャース＆オスカ・ハマーシュタイン二世という名コンビによる最後の作品『サウンド・オブ・ミュージック』といった新旧の人気ミュージカルがずらりと並ぶ。
クラシック専用ホールが、エンターテインメント空間へ
空前のミュージカルブームと言われる昨今、これらの曲をオーケストラの演奏で聴く機会は増えたが、パイプオルガンでの演奏は珍しい。大木麻理の奏でるオルガンに、打楽器も加わり、迫力を後押しするだろう。ザ・シンフォニーホールの

「オルガン」大木麻理

「オペラ座の怪人」／「レ・ミゼラブル」／「キャッツ」
「美女と野獣」／「マンマ・ミーア!」／「ライオン・キング」
「コーラスライン」／「サウンド・オブ・ミュージック」
※休憩なし。約60分間のコンサートです。

2025.8/23(土) 2:00PM

全席指定 3,300円(税込)

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

お問い合わせ) ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



詳細はこちら

(文 磯島浩彰)

舞台正面に厳かに佇む巨大なパイプオルガンは、残響2秒のホールと連動して、大迫力のサウンドを響かせ、巨大な楽器の中にいるかのような壮大で幻想的な世界へ誘ってくれる。そして忘れてはならないのが、最新技術を駆使したプロジェクションマッピングだ。音楽とプロジェクションマッピングが一体となると、クラシック専用ホールの枠を超えた、迫力満点のエンターテインメント空間を実現させる。今回はプロジェクションマッピングの映像もリニアールされているというから、その感動は、確実に貴方の想像をはるかに超えるはず。会場で体験して欲しい。



〔編曲・指揮〕
藤野 浩一

ライト・シンフォニックコンサート
Vol.12

大人の贅沢

日本人メジャーリーガーの活躍を祈念して
&
松崎しげるベストソングセレクション

〔ゲスト〕
松崎 しげる

きつと、忘れられない日になる。
そんな予感がする。

第一部の「私を野球に連れてって(Take Me Out To The Ball Game)」は、アメリカメジャーリーグの試合中に必ず流れる愛唱歌。松井秀喜選手、イチロー選手、そして大谷翔平選手のような、偉大な日本人メジャーリーガーたちの活躍に敬意を表して演奏いたします。「ソルフェジエット/メタモルフォシス」はC.P.E. バッハの「ソルフェジエット」を原曲に、グラミー賞6回受賞に輝く大作編曲家ホルヘ・カランドレリが、世界最高峰のクラリネット奏者エディ・ダニエルズのために書いた曲です。新日本フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者マルコス・ペレス・ミランダさんの卓越したテクニックと豊かな音楽性でご堪能ください。第一部のラストを飾るのは「American TV Adventure」。アメリカのテレビドラマや映画から数々の名曲をオーケストラの演奏で。第二部は「愛のメモリー」をはじめ、松崎しげるさんの大ヒット曲からスタンダードナンバーまでオーケストラとの共演でお届けします。時代を超えて、多くの人々の心を揺さぶり続ける松崎さんの歌声を心ゆくまでお楽しみください。

〔ゲスト〕松崎 しげる、マルコス・ペレス・ミランダ (Marcos Pérez Miranda 新日本フィル首席奏者)
〔編曲・指揮〕藤野浩一 〔管弦楽〕大阪響ポップスオーケストラ

第一部「日本人メジャーリーガーの活躍を祈念して」An Affair To Remember / Luck Be A Lady / Somewhere Out There / Deep in the Heart of Texas / 私を野球に連れてって (Take Me Out To The Ball Game) / Here's That Rainy Day / ソルフェジエット/メタモルフォシス (Solfeggietto/Metamorphosis) / アメリカン TV アドベンチャー (American TV Adventure)
第二部「松崎しげるベストソングセレクション」素肌物語 / ただそれだけ / 愛のメモリーほか

2025.8/24 (日) 2:00PM

全席指定 SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円(税込)

〔お問い合わせ〕ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

〔主催〕公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中



詳細はこちら



〔指揮〕尾高 忠明

ザ・シンフォニーホール特別演奏会 ベートーヴェン・チクルス～原点にして頂点～I

〔指揮〕尾高 忠明 〔管弦楽〕大阪フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン・バレエ音楽「プロメテウスの創造物」op.43 序曲/交響曲 第1番 八長調 op.21
交響曲 第2番 二長調 op.36

2025.9/10 (水) 7:00PM

全席指定 A 6,000円 B 4,500円 C 3,500円 【セット券】Aセット 23,000円 Bセット 17,000円

〔お問い合わせ〕大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

〔主催〕公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

シンフォニア会員先行: 7/17(木) 11:00~ 一般発売: 7/22(火) NEW

※ザ・シンフォニー チケットセンターでは7/23(水)より一般発売。
※セット券は5/13(火)より一般販売。大阪フィル・チケットセンターのみで販売。



詳細はこちら

今後の公演スケジュール 〔開演時間〕7:00PM ※Vは2:00PM
〔指揮〕尾高 忠明 ※料金はIと同額です。

II 2025年11月13日 (木)
曲目: 交響曲 第4番 変ロ長調 op.60
交響曲 第3番 変ホ長調 op.55「英雄」

III 2025年12月11日 (木)
曲目: 交響曲 第6番 へ長調 op.68「田園」
交響曲 第5番 短調 op.67「運命」

IV 2026年1月28日 (水)
曲目: 交響曲 第8番 へ長調 op.93
交響曲 第7番 変ロ長調 op.92

V 2026年2月23日 (月・祝)
独唱: 森谷真理(S) 林 真咲(A) 村上公太(T) 平野 和(B)
合唱: 大阪フィルハーモニー合唱団
曲目: 交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付」

7年ぶり2度目のベートーヴェン・チクルスは
進化と深化を体感できる濃密な全5回

指揮 尾高 忠明が大阪フィルの音楽監督に就任して8年。以来ザ・シンフォニーホールではブルックナー、メンデルスゾーン、ブラームスなどのチクルスやフランス音楽に焦点をあてたシリーズを展開し、その魅力を多角的に披露してきました。

2025年、尾高と大阪フィルの2度目となるベートーヴェン・チクルスは、双方のより成熟した頂点の演奏に触れることができる全5回。間違いなく、すべて見逃せません。



第161回定期演奏会

オーケストラの魔術師に挑む！
吹奏楽で紡ぐラヴェルの世界

2025年が生誕150年のモリアル・イヤーであるモリス・ラヴェル(1875-1937)。クール・知的と感じられる精緻な筆づかいにして、ひとたび音になれば優雅さを漂わせながら豊かな情感を醸し出す…そんなラヴェルの音楽を、吹奏楽ならではの要素も織り交ぜながら特集します。指揮は第151回定期演奏会で変奏曲の世界をカラフルに描ききった齊藤一郎。その大胆にして繊細なタクトがラヴェルをどう昇華させるのか、注目です。

〔吹奏楽で紡ぐ珠玉の5作品〕

異国情緒がふんだんに発揮された名作『スペイン狂詩曲』で幕を開けると、ラヴェルのバレエ作品を代



〔指揮〕齊藤一郎

表する『ダフニスとクロエ 第二組曲』へと続きます。後半は、ウィンナ・ウルツへの讃歌である『ラ・ヴァルス』、ラヴェル初の出版作品でピアノ曲の『古風なメヌエット』、そして最も有名な作品であろう『ボレロ』で締めくくります。

〔魔術師に挑んだ編曲の妙〕

オーケストラの魔術師への挑戦は、演奏者・指揮者だけでなく、編曲家の挑戦でもあります。

『ダフニスとクロエ』はShionが何度も演奏している佐藤正人のアレンジ。かつて年に一度発売していたニュー・ウインド・レパートリー(NWR)にも収録、2023年の創立100周年記念演奏会では大植英次指揮により熱演を繰り広げました。

『スペイン狂詩曲』は前述NWRのディレクションを担当するなど、Shionと蜜月の関係にあり、名編曲家として名高い故・森田一浩の譜面を使用します。

『ラ・ヴァルス』は西村友による編曲。第135回定期演奏会にて編曲家のタクトにより演奏し、その過程でShionに最適化された秀逸なスコアです。

ピアノ曲である『古風なメヌエット』を吹奏楽に編むのは、類まれな技術を要する仕事です。晩年にラヴェルによってオーケストレーションされた管弦楽版との比較も

楽しみです。そして『ボレロ』はそのオスティナティな作風、ソロ回しの側面において、オーケストレーションの真価が問われる作品と言えるでしょう。それぞれ、青山るり、大橋晃一のアレンジでお楽しみいただきます。

ラヴェルの世界観を吹奏楽で追求することで見出されたラヴェル作品の新たな魅力を体感していただける公演となっております。また、吹奏楽という演奏形態の可能性が広がる機会となることも間違いなくでしょう。是非ザ・シンフォニーホールの会場で極上の時間をお楽しみください。

〔指揮〕齊藤一郎
〔吹奏楽〕Osaka Shion Wind Orchestra

《オール・ラヴェル・プログラム》
スペイン狂詩曲/バレエ音楽「ダフニスとクロエ」第二組曲
管弦楽のための舞踏詩「ラ・ヴァルス」/古風なメヌエット/ボレロ

2025.6/28 (土) 2:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 2,500円

学生価格 3,000円(税込)

※C席は、Shionチケットセンター、Shionオンラインチケットのみでの販売。

※学生価格は、Shionチケットセンターのみでの販売。

〔お問い合わせ〕Shionチケットセンター

フリーコール: 0800-919-5508 (平日10:00~17:30)

〔主催〕公益社団法人 大阪市音楽団



詳細はこちら

発売中

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。

夏のザ・シンフォニーホールに爽快地響く音楽を体感しに来ませんか？
今号で紹介するのは、デビューから3回目の公演となる大阪芸術大学ドリーム・ウインド・オーケストラと
毎年ホールで好評を博している、大阪府医師会フィルハーモニーの演奏会。
ステージをキラキラと彩る2団体の好演にご期待下さい！

MESSAGE

大阪芸術大学 ドリーム・ウインド・オーケストラ2025

大阪芸術大学 ドリーム・ウインド・オーケストラ 2025

【指揮】潮見裕章、酒井 格、伊勢敏之
【ソリスト】福田 亨(サクソフォン奏者)
【演奏】大阪芸術大学ドリーム・ウインド・オーケストラ

A.リード:エル・カミーノ・レアル
J.スウェアリンゲン:ロマネスク
酒井 格:委嘱作品(世界初演)
2025年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲
杉山義隆:祝い唄と踊り唄による幻想曲
伊藤士恩:マーチ「メモリーズ・リフレイン」
大島ミチル:Rhapsody〜Eclipse
後藤 洋:ステップ、スキップ、ノンストップ
J.パーンズ:アリオソとプレスト〜A.Saxとバンドのための〜
A.リード:アルメニアン・ダンス パートI

2025.6/4(水) 7:00PM

全席当日座席指定：3,500円
高校生以下 無料(事前申込要)

【お問い合わせ】
大阪アートエージェンシー
06-6372-4583(平日9:00~17:00)



ネスク、酒井 格／委嘱作品(世界初演)、2025年度吹奏楽コンクール課題曲より祝い唄と踊り唄による幻想曲／ステップ、スキップ、ノンストップ／マーチ「メモリーズ・リフレイン」／Rhapsody／Eclipse、J.パーンズ／アリオソとプレスト、A.リード／アルメニアンダンスパート1。今がまさに旬の精鋭たちが織りなす夢の響き宴を心ゆくまでお楽しみください。入場料3500円(税込)／高校生以下は無料(要事前申込)

多彩なプログラム、夢の饗宴を心ゆくまで！
関西を中心に活躍する実力派演奏家たちが、所属する楽団や団体の枠を超えて集結した「大阪芸術大学ドリーム・ウインド・オーケストラ」。2023年のデビューから回を重ね第3回目の公演となる今回はアルフレッド・リードの作品を中心に、酒井 格の委嘱作品(世界初演)、福田 亨のサクソ・ソロによるジュームズ・パーンズのアリオソとプレスト、2025年度吹奏楽コンクール課題曲全曲演奏という多彩なプログラムを潮見裕章、酒井 格、伊勢敏之の三人の指揮者がタクトを振ります。演奏プログラムは順にA.リード／エル・カミーノ・レアル、J.スウェアリンゲン／ロマネスク、酒井 格／委嘱作品(世界初演)、2025年度吹奏楽コンクール課題曲より祝い唄と踊り唄による幻想曲／ステップ、スキップ、ノンストップ／マーチ「メモリーズ・リフレイン」／Rhapsody／Eclipse、J.パーンズ／アリオソとプレスト、A.リード／アルメニアンダンスパート1。今がまさに旬の精鋭たちが織りなす夢の響き宴を心ゆくまでお楽しみください。入場料3500円(税込)／高校生以下は無料(要事前申込)

MESSAGE

大阪府医師会フィルハーモニー 第54回定期演奏会

大阪府医師会フィルハーモニー 第54回定期演奏会

【指揮】高谷 光信
【管弦楽】大阪府医師会フィルハーモニー

ウェーバー:歌劇「オベロン」序曲
ヒンデミット:交響曲「画家マティス」
ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」

2025.7/13(日) 2:00PM

自由席：1,500円

【お問い合わせ】
大阪府医師会フィルハーモニー事務局
06-6213-2841
【ご予約】
ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333



音楽とボランティア活動を続けるSDGsの先駆者！
大阪府医師会フィルハーモニーは、1970年に大阪府医師会員のクラシック音楽を愛するメンバーにより設立されました。現在では医療関係者だけでなく、一般のメンバーも多数参加しているアマチュアオーケストラです。
主な活動は、病院での「ふれあいコンサート」や、大阪府城東区医師会の市民公開講座と共催した「ウインターコンサート」、年に一度のザ・シンフォニーホールでの「定期演奏会」としています。定期演奏会には、視覚障害のある方々や普段クラシック音楽に接する機会の少ない小学生をご招待し、また、大阪市鶴見区にあります「TSURUMIこどもホスピス」の広報・募金活動も行っております。
今回のコンサートも、昨年に引き続き高谷光信先生の指揮で演奏いたします。画家マチスの複雑なメロディーや、田園の温かみのあるハーモニーをお届けできるよう日々練習に励みました。個性豊かな仲間と奏でるサウンドにどうぞご期待ください。

こみちゃんの 温故知シン《vol.15》

小味渕 彦之(こみぶち ひろゆき／音楽評論家)



提供：日本センチュリー交響楽団 ©s.yamamoto

日本センチュリー交響楽団の「ハイドンマラソン」が無事にゴールテープを切ってフィナーレを迎えました(＝写真)。3月21日にこのザ・シンフォニーホールで、その最終回に当たる「ハイドンマラソンH.M.38」が開催されたのです。10年間の38回の演奏会でハイドンの番号の付いた104曲の交響曲を全曲演奏しました。日本ではかつて、カザルスホールで新日本フィルが複数の指揮者で同様に全曲演奏を達成したことがありましたが、一人の指揮者と一つの楽団による演奏会での偉業を成し遂げたことは、世界的にも数少なく稀なことです。
最終回のプログラムには104曲の中で残った2曲である《第84番》と《第104番「ロンドン」》が並びました。後者はまさにハイドンが残した最後の交響曲です。そこに組み合わせたのが、モーツァルト最晩年の合唱付きの曲。《アヴェ・ヴェルム・コルプス》と《レクイエム》の中の「涙の日」が、日本センチュリー合唱団の温かなハーモニーに彩られて演奏されました。思いがけず感じられたのが、同じウィーン古典派と

して分類され、生まれ年も24歳違いとなるこの二人の作曲家が書く音楽の違いでした。モーツァルトの作品は最晩年のものということもあるのですが、この世のものとは思えないほどの輝きがあつて、そこには極上の美しさと思しさが共存していました。一方、ハイドンの作品に満載なのは古典の明確な様式感の中に繰り広げられるウィットにあふれた奥行きある音楽です。ハイドンの有名な言葉である「私は世間から切り離されていて、周囲には惑わすものも悩ますものもなく、そのために独創的にならざるを得なかった」という内容をまさに体現しています。
「ハイドンマラソン」は、今から約10年前になる2015年6月5日にいずみホール(当時)で開かれた同楽団の「いずみ定期演奏会N.O.27」で始まりました。そこから18回目に当たる2020年1月17日の「いずみ定期演奏会N.O.44」までを区切りとして、次年度から会場をザ・シンフォニーホールへと移すことになっていました。ところがコロナ禍に突入して、2020年の

春は4月7日に関西では大阪府と兵庫県に緊急事態宣言が政府によって発出されて以降、演奏会が開催できない状況が続きました。そして、「ハイドンマラソンH.M.19」がギリギリの決定で日程を変え、6月20日に開催されたことを、今も鮮明に記憶します。緊急事態宣言後、初めて開催されたオーケストラの演奏会ということで、世間からの注目も大きかったのですが、奏者間のソーシャルディスタンスをとったオーケストラの配置の中で、アンサンブルのしづらい状況にもかかわらず、感動的な響きが生まれたことを思い出します。
共に歩み、38回の演奏会の指揮を担った飯森範親さんはこの3月末でセンチュリーの首席指揮者を退任となりました。「ハイドンマラソン」への思い入れも強く、そして全曲に取り組んだこそその成果も「素晴らしいでしょ」と自負されるほど。104曲の交響曲は同時にレコーディングも行われ、そのCDもすでに28枚が発売されています。その全集としての完成も楽しみにしたいと思います。



ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介します。



vol.69 産学連携で人材育成

「ザ・シンフォニーホールのような夢の舞台に立てる人は一握りです。才能、努力、それを支える大勢の人。今、その支える人が圧倒的に足りません」

3月19日、神戸女学院大学とザ・シンフォニーホールの連携協定調印式を取材しました。照明や音響、演出、さらにはコンサートのマネジメントなどに関わる人材を産学連携で育成していく取り組みです。記者会見でザ・シンフォニーホールのゼネラルマネージャー喜多弘悦氏は冒頭のコメントを熱く語りました。

演奏家を支える人が足りない…。スポーツに置き換えると、例えば夏の高校野球。地方大会に始まり、全国大会。選手たちが野球に没頭できるように、移動や宿泊、審判員の確保や球場整備、開会式ほかセレモニーの運営などありとあらゆるところに人が関わっています。(甲子園球場のスコアボード、昔は職人の手書きでしたね)

一方、グラウンドせましと駆け回る選手たちを見つめる大観衆の中、新たな才能を探すべくプロ野球や、メジャーリーグのスカウトが熱い視線を送ります。檯舞台に立った一握りの人たちは、多くの人に支えられながら私たちに次の夢を魅せてくれます。

「夢に向かってチャレンジしている人を支える。それは社会貢献の一つです。マネジメントのプロを育てることが急務なのです」喜多氏はこう締めくくりました。

あまたある才能を見つけ出し、磨き、輝かせ、その人の音楽を通して聴く人の人生に潤いや慰め、活力を与えるために支える人。演奏家と聴衆のはざまで決して目立つことのない橋渡し役は、しかし、人生をかけてやり抜く素晴らしい仕事だと私は確信しています。

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介!

堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシック知識を余すところなく語る30分。

ABC Radio
AM1008 / FM93.3

毎週日曜日
あさ7時~7時30分

Sinfonia ライター紹介&Message



【音楽ライター】磯島浩彰

湖国近江生まれの音楽ライター。大手情報誌の編集、チケット担当から、某オーケストラの広報マン、劇団制作などを経て、現在フリーで活動。

音楽は昭和歌謡からジャズ、クラシックまで。演劇は小劇場から宝塚、歌舞伎まで。守備範囲は常に広く、エンターテインメント業界に携わること約40年。独自のネットワークを駆使したアーティストインタビューを中心に、音楽専門誌やWEBメディア、ホール・演奏団体の広報誌などに執筆している。モットーは実演最高! 長年の経験から言って、コンサートには前の席、後ろの席は有っても、良い席、悪い席はない。大切なのは、体験したのか、しなかったのかの違い。体験したならOK。その経験は一生の宝物。体験しなかったら、後で何を言ったところでそこまで。気になるコンサートや芝居には、まず行ってみることをオススメする。ライター業は、コンサートに行ってみたくなるような、背中を優しく押すような記事を書く事が肝要と心得ている。ザ・シンフォニーホールがリコメンドするコンサートにハズレはなし。残響2秒の奇跡を、貴方の耳で感じて頂きたい。